

健康 ぷらざ

エッ!胃の中に細菌が? —ピロリ菌にご用心—

指導：杏林大学医学部第三内科 教授 高橋 信一

企画：
日本医師会

No. 265

胃に住みついているピロリ菌

ピロリ菌（ヘリコバクター・ピロリ）は人間の胃の粘膜に好んで住みつく細菌です。胃のなかには強い酸性の胃酸があるため、細菌は通常住めませんが、ピロリ菌は、アンモニアを出して胃酸から身を守って住みついています。そのピロリ菌が出すアンモニアや毒素が胃の粘膜に悪影響を与え、胃潰瘍や十二指腸潰瘍を引き起こします。

日本人はピロリ菌に感染している人が多く、特に、50歳代以上の70～80パーセントが感染していると推測されています。



写真提供 東京顕微鏡院 伊藤 武先生

これが
ピロリ菌だ!

ピロリ菌に感染していると…

胃潰瘍の患者さんについて調べたところ、その約70パーセントが、また十二指腸潰瘍の患者さんでは約90パーセントがピロリ菌に感染していることが分かりました。なお、ピロリ菌に感染している人では胃がんの発生率が高いという報告があります。

ピロリ菌対策として

病気の原因がピロリ菌であると分かった場合は、それを取り除くことが先決であり、効果的です。そこで、3種類の薬を1週間飲む「ヘリコバクター・ピロリ除菌療法」が開発され、胃潰瘍・十二指腸潰瘍で健康保険の適用になりました。

ただし、胃潰瘍・十二指腸潰瘍の原因は食事、薬剤、ストレスなど、さまざまですから、ピロリ菌の検査と除菌療法については、まず、かかりつけ医にご相談ください。

